

(2) 麻 酔 科

1. 研修目標

臨床医としてプライマリ・ケアに必要な診断法と治療法を身につけること、および患者を全人的視野からとらえる姿勢を形成することを目的とする。麻酔の担当医として周術期患者の全身管理を行うなかで、麻酔手技の習得と呼吸・循環管理における知識および麻酔科診療を行う上で必要な基本的薬物について理解することを目的とする。

2. 研修指導体制

指導医がマンツーマンで指導を行い、麻酔の担当医として周術期患者の全身管理を行う。

3. 研修指導責任者 澄川 耕二

4. 研修内容

- ① 術前患者評価
- ② 麻酔準備
- ③ 麻酔手技
- ④ 患者管理
- ⑤ チーム医療

5. 研修到達目標

5-1 行動目標

医療人として必要な基本姿勢・態度を身につける。患者を全人的視野からとらえる姿勢を形成する。さらに、麻酔管理の基本的な知識と技術を修得する。

5-2 経験目標

麻酔の担当医として周術期患者の全身管理を通して、麻酔手技の習得と呼吸・循環管理における知識および麻酔科診療を行う上で必要な基本的薬物について理解することを目的とする。

A 経験すべき診察法・検査・手技

(1) 基本的な身体診察法

- ① 全身の観察ができ、記載できる。
- ② 頭頸部の診察ができ、記載できる。
- ③ 胸部の診察ができ、記載できる。
- ④ 腹部の診察ができ、記載できる。

(2) 基本的な臨床検査

- ① 一般尿検査
- ② 便検査
- ③ 血算・白血球分画
- ④ 血液型判定・交差適合試験
- ⑤ 心電図 (12誘導)
- ⑥ 動脈血ガス分析
- ⑦ 血液生化学的検査・簡易検査 (血糖、電解質など)
- ⑧ 肺機能検査
- ⑨ 単純X線検査
- ⑩ X線CT検査

(3) 基本的手技

基本的手技の適応を決定し、実施するために、

- ① 気道確保を実施できる。
- ② 人工呼吸を実施できる（バッグマスクによる徒手換気を含む。）
- ③ 気管挿管を実施できる。
- ④ 末梢静脈路を確保できる。
- ⑤ 採血法（静脈血、動脈血）を実施できる。
- ⑥ 導尿法を実施できる。
- ⑦ 胃管の挿入と管理ができる。
- ⑧ 心マッサージを実施できる。
- ⑨ 除細動を実施できる。
- ⑩ 心電図、パルスオキシメーター、カプノメータ、体温、筋弛緩モニターの評価ができる。

(4) 基本的治療法

- ① 薬物の作用、副作用、相互作用について理解し、薬物治療ができる。
- ② 輸液製剤について理解し、適切な輸液ができる。
- ③ 輸液ポンプ、シリンジポンプを適切に使用できる。
- ④ 輸血による効果と副作用について理解し、輸血が実施できる。

(5) 医療記録

- ① 麻酔記録、診療録を記載し管理できる。
- ② 処方箋、指示箋を作成し、管理できる。

